

(株) 苫東 第17回経営諮問委員会の概要

- 1 日 時 平成25年5月22日（水）13：30～14：30
- 2 場 所 ホテル札幌ガーデンパレス4階「平安」
- 3 出席者 9名全員出席
- 4 議 題 (1) 平成24年度経営概況について(平成24年度決算見込み、株主還元(案))
(2) 平成25年度事業計画について
(3) これからの苫東について

5 議事要旨

(1) 平成24年度経営概況について

平成24年度の損益見込みが、売上高8.6億円、経常利益3.3億円となることについて概要報告がなされた。

株主還元については、事業運営に必要な資金や臨海臨港地区の整備資金等を留保した上で、2.3億円(200円/株)の還元を行いたい旨説明がなされた。

(2) 平成25年度事業計画について

平成25年度は売上高16.2億円、経常利益4.4億円を目指す旨報告がなされた。

(3) これからの苫東について

苫小牧東部開発新計画の実施状況を踏まえたなかで、プロジェクト情報の把握、土地取引制度等の弾力的かつ戦略的な活用等を通じ、環境エネルギーや食関連産業など苫東の優れたポテンシャルを活かした事業展開の方向性について説明がなされた。

これらの説明を受けて、次のような意見があった。

- 苫東の土地分譲方針について、長期的にみて土地を残しておくべきか、売れるものは売べきと考えるのか、土地の有効活用の観点からも検討すべき。
- 営業戦略においては面的な考え方が必要。例えば、メガソーラーや天然ガスなど苫東ならではのエネルギーを複合的に活用する仕組み、スマートコミュニティー的な展開を企画・提案するなど、企業の立地を促す新たなポテンシャルづくりが必要。
- 「食」や「健康」と関連付けた新たなモノづくり、例えば医薬品、サプリメント、化粧品など、少子高齢化においても成長する市場を見極めながら誘致することも重要。
- 産業構造の変化やグローバル化、国の成長戦略を踏まえた「地域独自の取り組み」の観点から、自然環境を活かしたヘルスケアや健康ビジネスのサプライチェーンの展開、優れた港湾を活用し国際化に向けた物流拠点の形成を図ることも必要。

- 苫東の土地は、雇用の拡大や産業の発展につながるよう有効に活用すべき。
- 石油備蓄基地や東港など苫東地域内施設の防災機能を高め、防災拠点としてのポテンシャルの向上を図るべき。
- 時代が苫東に近づいてきた感があり、苫東もこのチャンスを生かすべき。
- 苫東は宝物。北海道民自身が直接参加しながら、生産する場として活用し、北海道の雇用と税収を増やすための自立的な体制づくりのために苫東を使っていくべき。
- 「食」や「農」など北海道の優位性を苫東で発揮すべき。例えば、オランダのようなIT技術を駆使した世界的な一大農業工場の展開など。
- 苫東においては、新千歳空港に近いメリットを生かし関連するプロジェクト誘致につなげていくこと。

以 上